

## 高等部の進路指導について

千葉県立印旛特別支援学校

それぞれの生徒に応じた、適切な進路選択ができるように支援します。

### 年間の予定

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
学年	作業学習 →					作業学習 →						
1年			作業学習	福祉・職業相談 進路相談			校内実習・産業現場等における実習		進路相談	関心を持つ		
2年			産業現場等における実習							方向性を見いだす		
3年										進路先決定に向けて		

### 具体的な内容

#### 1 作業学習

普段の日課の中で、働く力を養う中心的な授業です。

#### 2 校内実習

登校後から下校までグループごとに清掃や受注作業などの活動に取り組み、作業への集中力や持続力を養うとともに、卒業後の職場や作業所等での生活に近い体験をします。

#### 3 「産業現場等における実習」

年に2回（6月と10月）、1～2週間を基本にして一般企業や福祉施設等に出向き、実際の仕事や作業を体験します。自分自身を再発見し、進路に向けての関心を高める機会となっており、進路指導の中でも大きな役割を占めています。

主な実習先：スーパーマーケットやホームセンターなどの小売店、福祉施設、福祉作業所など

#### 4 進路相談（面談）

進路の希望や進路情報などについて、生徒・保護者・教員で話し合う機会です。

主に学期末（実習終了後）に行われますが、必要に応じて臨時に設けることもあります。

#### 5 福祉相談

年1回（夏季休業中）、各市町村の福祉担当課の職員や相談支援事業所の方が来校し、進路希望を伝えたり、福祉サービスの情報を聞く機会を設けたりしています。

#### 6 職業相談

年1回（夏季休業中）、公共職業安定所の職員、障害者就業・生活支援センターの職員が来校し、3年生の就職希望者を対象とした相談会を行っています。

#### 7 アフターケア

卒業後3年以内の方々を対象として、進路先での適応状況を把握し、問題の早期発見、早期対応に努めています。